

パブリックコメント一覧

受付 番号	意見提 出者の 区分	意見等	回答	備考
1	市内に 住所を 有する 者	1 「Ⅰはじめに」 「多様な考えに触れ・・・社会性や規範意識を身に付けさせる」とあるが、規範意識とは、横並びの言い換えに過ぎない。多様な考えに触れるだけではなく、多様な考えを認め合い、育てていくことが重要である。「規範意識を持ちつつも多様な個性が溢れ尊重される場となる」とすべきではないか。	国の資料等に準じているため、このままといたします。	HP
		2 学級の規模について 現在、1学級は35人であるが、世界的な視野でみれば多すぎる。20人学級を目指してみたらどうか。国の指導からは外れるが、こどもにも教師にとっても有益である。	国の資料等に準じているため、このままといたします。	
		3 通学距離について 小学生4km、中学6km、通学時間1時間とあるが、小学生2km、中学3km、通学時間30分が現実的であろう。スクールバスを使用すれば、距離は無視して、通学時間30分のみを基準とすればよい。	国の資料等に準じているため、このままといたします。	
		4 「V適正規模・適正配置の推進の方策」 1 学校の統合について 「重視する声として、受益者である児童生徒の保護・・・」とある。当事者は、こどもたち。子どもたちの意見を聞かないのはなぜか。子どもたちは意見を持っていないのか。適正規模・適正配置計画で最も影響を受けるのは子どもたちです。現に学校に通っている子ども・将来学校に行くこども・数年前まで学校に行っていたこども。こうした子どもの声を聴かないのか。なぜ、こどもの声を反映させないのか。一番、重視しなければならない原則は、"こどもの権利条約"を実現することです。	計画を策定する際には、アンケート等を取るなどを検討いたします。	
		5 目指す学校 既存の学校のままで統廃合するのではなく、新しい教育理念に基づく学校を作っていくべきと考える。例えば、インクルーシブ教育を実践する学校、フリースクールを作る。義務教育学校を作る。イエナプラン教育の学校を作る。 施設として構築する際に、学校だけではなくて、同時に保育園や老人施設などを併設して多様性を実現できる施設を構築する。	国の資料等に準じているため、このままといたします。	
2	市内に 住所を 有する 者	「学校は地域コミュニティの核としての側面を有することが多く、通学区域の見直しや統合等についての判断は、教育的観点のみならず、地域の様々な事情を総合的に考慮して検討しなければならない繊細かつ困難な課題です。以上のことから、（中略）「白岡市立学校の適正規模・適正配置に関する計画策定の基本方針」を定めるものです。」 とありますが、大山小学校の廃校についてはなぜ、前記のような考え方に基かず、地域コミュニティの核としての側面を完全に無視して、住民にアンケートを取るなどの提案を拒否し「子どものため、子どものため」の一点突破で拙速な廃校に突き進んだのか未だに疑問です。 もし、大山小学校での失敗を反省し、このような方針を示すということでしたら、そのことも教訓として書き示してはいかがでしょうか。 市執行部の方々は「大山地域はどうやって人口が減っていく地域だから」と見捨てるようなお考えをお持ちであるように地域住民から聞きます。 そのようなお考えをベースにして本当にVの方策に記されている「地域住民から見た学校は、地域社会の将来を担う人材を育てる中核的な場所であるとともに、防災、地域の交流の場など様々な機能を有している場合も多く、学校づくりがまちづくりと密接に関わる場合も多いところ です。こうした中にあって、地域とともにある学校づくりが求められていることを踏まえれば（中略）まちづくりも含めて、十分な理解や協力を得ながら進めなければなりません。」ということが実現できるのでしょうか。 Ⅱ市立小・中学校の現状を見ると、次に基準を満たさなくなるのは菁莪中学校、そして菁莪小学校のように見受けられます。「菁莪地域はどうやって人口が減っていく地域だから」という考えで住民から学校を取り上げるのでしょうか。それとも、市長の地元である地域は何か特別な扱いとなるのでしょうか。 （仮称）白岡市立学校適正規模・適正配置計画策定検討委員会の構成員として学識経験者が挙げられていますが、どういった分野の学識経験者を想定されているのでしょうか。前述の通り「学校づくりがまちづくりと密接に関わる。地域とともにある学校づくりが求められている」という意味では、教育の専門家だけでは不足だと考えます。学校を地域の核として考えた街づくりに関する知見のある学識経験者を入れるよう記載してはいかがでしょうか。	計画を策定する際に御意見を考慮いたします。	HP
3	市内に 住所を 有する 者	基本方針に特に異論はありませんが、どのような学校だったら楽しく学べるかを市内の小中学生の全児童・生徒にアンケートを実施し、誰でも見られられよう公開してほしいです。 以下、今後の白岡の小中学校に希望することを記します。 ①給食費無償化 ②教科書の電子書籍化 ③成績表の廃止（相対評価→絶対評価） ④チーム担任制 ⑤児童・生徒による校則の決定 ⑥登校班の廃止（希望者のみ対応） ⑦自転車通学の許可 ⑧学校指定品は希望者のみ ⑨定期テスト制→小テスト制 ⑩探求型総合学習・活動を中心とする小・中一貫校の設立 ⑪PTA会費による学校の備品購入廃止（必要なものは市へ予算計上する）	必要に応じて、計画を策定する際や学校運営の参考とさせていただきます。	市役所 1 階BOX